

## 平成28年度 第3回 高石市都市計画審議会 議事録

【開催日時】 平成29年2月7日（火） 午後3時30分から開催

【開催場所】 高石市役所 別館3階 多目的ホール

【出席委員】 委員16名中15名の委員が出席され開催いたしました。

日野 泰雄	下村 泰彦	丑野 正仁
北山 憲	中井 正司	出川 康二
清水 明治	古賀 秀敏	佐藤 一夫
畑中 政昭	辻野 治彦	東口 正一
宮崎 吉二	藤田 政明	高橋 妙子

(以上委員15名)

【欠席委員】 大當 重彦

【傍聴者】 1名

【日 程】 付議第1号 高石市立地適正化計画の策定について  
その他

【確認事項】 副市長より、高石市立地適正化計画の策定についての付議書が提出された。

【答申事項】 付議第1号に対しては、欠席委員1名を除く委員15名の同意の上、原案のとおり認める答申がなされた。

【質疑応答】

・付議第1号、高石市立地適正化計画の策定について

(会 長) 前回の都市計画審議会と12月17日の説明会で頂いたご意見について事務局から回答があったが、まず、これについて何かご意見はあるか。

(会 長) 特段ご意見等がなければ、立地適正化計画本編についてご意見はあるか。

(委 員) まず、年号についてである。本計画では年号の標記に平成という和暦を使われているが、可能であれば年号を西暦で記載してはどうかと思うので、申し上げておく。次に、本計画では3つの誘導区域を設定しているが、誘導に向けた施策において、富木駅地域では国の財政支援を受けて実施する駅前再開発のようなものはなく、3つの誘導区域としながらも富木駅地域のことだけが書かれていない。商業施設については、かつては富木駅地域に幾つもスーパーマーケットがあったが、現在では小規模の商業施設が2つある程度になっている。隣接している鳳まで行けば大きな商業施設があるが、高齢化が進む中ではそういった場所に買い物に出かけることも難しくなる。富木駅周辺の整備についてはまちづくり協議会を開催し、平成15年頃には、あとは地権者の承諾が得られると実行に移せるところまで協議が進んでいた経過がある。富木駅地域が寂れていっているという実態がある中、国の支援を受けて市が行う施策において何も記載されていないことについて、市としてどのような考えをお持ちなのかお聞かせ頂きたい。

(会 長) 1点目は文章中の西暦の記載についてということであった。これは全市的に検討すべきことだと思う。

2点目は国の支援を受けて市が行う施策に、富木駅地域の事業の記載がないというご指摘であったが、ここに記載されているのは今予定されている事業であり、予定がないものについては書けないのではないかと思う。富木駅地域には、高齢者の介護を含む施設と、学生の居住を併設するような施設を誘導しているので、今ご意見のあったように商業施設等でなくこの誘導施設でよいのかということになるかもしれない。富木駅地域の事業の記載がないことと、将来的にどうお考えなのかについて事務局からコメントをお願いしたい。

(事務局) まず、誘導に向けた施策に記載している事業については会長からご説明頂いたように、現時点で事業化の見込みがある、もしくは都市計画決定を行っている事業を記載させて頂いている。

今後、富木駅周辺の活性化ということにつきましては、現時点で富木駅周辺のまちづくり協議会等も開催しているので、そこで地元と協議のうえ、今後施策等を検討していけたらと考えている。

(委員) 本計画には各地域における施設の充足状況についても記載されているが、富木駅地域では商業機能、スーパーマーケットの欄に丸印がついており充足しているとしている。先ほど申し上げたように、スーパーマーケットについては富木駅の近くに1店舗と、西取石3丁目に1店舗、この2店舗しかなく、日用品を身近で手に入れることがなかなかできない状況である。一見すると充足しているという捉え方になるが、実際はそうではない。富木駅地域に商業施設のできない原因としては、西取石1丁目と3丁目には幹線道路が2本しかなく、その2本の道路も西向きと東向きの一方通行になっており利便性が悪いからだと思う。富木中央線については都市計画決定がされてから相当な年月がたっているものの、ほとんど進められていない。また、富木線についても、鳳地区の再開発が進み、堺市側の結節点が出来上がっているが、高石市については未完成のままであり、富木駅地域だけが他の2つの地域に比べて相当遅れているというのが実態である。こういった現状について、もう少し当局として目を向けていくべきではないかと思う。当計画を修正をいただきたいということではないが、富木駅地域だけがこれだけ遅れているということについては、当局としてもしっかり捉えて頂きたい。

(会長) そういうご意見があったということでとどめさせて頂く。

今後重要となる施設については、表のとおり各地域における充足状況を調査し、一定充足しているという結果を出している。また、施設の誘導と分散の表では、今後重要となる施設の中で、特に駅周辺に集約することが望ましい施設を挙げており、具体的な誘導施設については地域毎の項目において説明しているが、それらの関連性が少し見にくい。富木駅地域は確かに遅れているのかもしれないが、今後、重点的に何を誘導するかについては、大型スーパーなどではなく、居住者、特に高齢者と学生という異世代の人たちに対する施設の充実を図るとしている。高石駅地域の場合は既に大型の商業施設があることなどから人が集まるような場所という特徴づけをしているが、重点的に整備すべき施設と違うということがわかる説明があるとよいかもしれない。

一点お聞きしたい。誘導に向けた目標値について、都市機能に関する目標値として誘導施設が充足している区域の数を1地区から3地区にするのはよいが、居住に関する目標値として人口密度97人/haを目標値とする算出根拠はどういったものか。

細かい値なので100、あるいは95でもよいのではないか。

(事務局) 目標値の人口密度97人/haというのは、高石市人口ビジョンの、出生率が向上し人口移動が均衡した場合の人口推計を採用し、平成48年度時点の推計から算出した数値である。表記については、数値を丸めたのもでもよいが、算出により97人という数値が出たのでそれを採用させて頂いている。

(会長) 目標値であるのでこれで問題ないが、通常はきりのよい数値を採用し、それに対してどのくらい進んでいるか、遅れているかを確認する。目標値が97となると、PDCAサイクルで進行管理をする際に96や94という非常に細かい数値での確認が必要になるのではないかと思った。今回は高石市人口ビジョンの中で採用されている数値ということなので変更する必要はないと思うが、どの辺りを目標にするのかということで100のような数値を採用してもよいと思う。

(会長) 他にご意見がないようであれば計画の修正は特に必要ないとし、本日付議頂いた案件については原案どおりに答申をさせて頂くということでよいか。

<全員 異議なし>

(会長) 付議第1号については、原案どおり答申することとする。

【午後16時30分閉会】